

市政を  
問う

## 令和4年 第2回定例会 一般質問での質問・答弁(要旨)

一般質問を行った議員の順番で、各議員が一定のスペースで自由にまとめたものを掲載しています。  
二次元コードから各議員の一般質問の録画配信へアクセスできます。(8月31日まで)

## 平和への思いを込めウクライナ人道支援を！

## ▼国分寺市のウクライナ人道支援について

**【吉田】**本市のウクライナ国籍の方や避難民ニーズの把握、人道支援の事業の考えは如何に？

**【答弁】**本年5月1日時点で6人のウクライナ国籍の方がおられることを把握している。その中にオペラ歌手の方がおり非核平和都市として4月14日いずみホールにてチャリティコンサートを企画、公演終了後148万円あまりの救援金が集まりウクライナ大使館へお届けした。

## ▼マイナンバーカード利便性向上について

**【吉田】**政府は本年度末に「ほぼ全国民に行き渡らせる」ことを目標としているが、本市は？

**【答弁】**4月1日現在で全国は43.3%、東京都

は47.2%(47都道府県中4位)、本市は48.2%と、都内26市中4位である。

**【吉田】**マイナンバーカードは各種公的証明書を「コンビニで受け取れる」とても便利な機能があるが、本市に住民登録が無いと発行不可能な証明書があることがわかった。何とかしたい。

**【答弁】**戸籍の全部(一部)事項証明書、戸籍の附票の写しは国分寺市に住民登録があり本籍地が国分寺市の方に限る。何とかして欲しいとの電話によるお問い合わせも月に数件あり、今後の自治体情報システムの改修に合わせ実現できるよう検討する。

## ▼消火栓マンホール視認性向上について

自由民主党市議団  
吉田 りゅうじ



**【吉田】**地下式消火栓マンホールの周りを目立つようにオレンジ色に塗装しているようだが、近年スタンドパイプの登場により地域住民が消火栓マンホールを扱う可能性もある。マンホールの蓋をLEDで光るようにしたらどうか。

**【答弁】**消火栓は市内に1172基が設置され、塗装作業は消防団員が位置や蓋のガタツキを確認するなどの目的も兼ねている。但し、視認性を高めることは他自治体でも共通の課題だと思う。東京都水道局の対応や他の自治体の取組みを注視していく。

## 心の健康維持について

## 1. 不登校児童・生徒を持つ保護者に対するサポートについて

**Q.**市にはトライルームがあり、不登校児童・生徒への対応がなされているが、保護者が相談できる施設はあるのか。また、学校としての対応を工夫する必要があると考えるが、いかがか。  
**教育長**教育相談室では、教育全般の相談を受けており、不登校に関する保護者の相談にも応じている。また、トライルームでは、利用している児童・生徒の保護者に向けた個人面談や保護者会を定期的に実施。利用していない方からの相談も電話相談という形で受けている。各学校ではスクールカウンセラー、またスクールソ

ーシャルワーカーに相談することも可能。保護者の不安や困り感にしっかりと寄り添うことは極めて重要であり、学校の対応によってストレスを感じ、お子様への影響を及ぼすということにはなってはならない。体制を工夫しながら、個別に丁寧に対応することが大切だと考える。

## 2. カウンセリングの普及について

**Q.**一人で我慢せず、相談したり、カウンセリングを受けたりすることは恥ずかしいことではないんだよということをも多くの市民の方に知っていただくことは大切だと考える。同時に、相談やカウンセリングの存在が身近になることで、恥ずかしいという認識も薄れ、相談しやす

くなると考えるが、いかがか。

**健康部長**市では健康増進計画に心の健康についての相談啓発を位置づけ、相談機関や窓口の情報提供、相談の仕方やSOSの出し方、周囲が変化に気づくことなどの周知について、総合的に取り組んでいる。今後、相談を利用することや専門的な支援につながる必要性などの周知啓発の効果的な方法について検討したい。

**その他：史跡武蔵国分寺跡について、市内文化財について、いずみホールについて、スポーツ振興について**

自由民主党市議団  
小坂 みちよ

電子母子健康手帳導入で  
子育て情報共有化を

## 1. 在宅医療・介護連携推進事業について

**さの)**市が担う在宅医療・介護連携相談窓口事業、役割は果たしているか。地域包括支援センターへの支援が必要と考える。**市)**相談体制充実のため、地域包括支援センターを軸とした連携をさらに深めたい。役割については検証、課題抽出し、次期計画策定への道筋をつけたい。

## 2. 認知症対策について

**さの)**民間カフェへの展開を視野に入れて、財政的な仕組みづくりが必要。**市)**市として支援の在り方について検討する。**さの)**小学校での認知症サポーター養成講座の再開を求める。**市)**重要な事業と考える。校長連絡会で伝える。

**教育)**講座の活用の働きかけを継続していく。

## 3. 小・中学校のトイレに生理用品配備を

**さの)**再度、小学校高学年、中学校のトイレに生理用品配備を求める。**市)**気兼ねなく使えるよう特定のトイレへの設置準備をすすめている。

## 4. 母子健康手帳について

**さの)**父親などの子育てサポートを促すために紙の母子健康手帳と併用でき、情報共有しやすい電子母子健康手帳の導入を要望する。**市)**6月15日より今のモバイルサービスから「ぶんじ子育てナビ」家族共有できるアプリに切り替える。子育て支援等の情報も共有したい。**さの)**低出生体重児への対応が大事。市の対応は。

公明党  
さの 久美子



**市)**母子健康手帳の対応は国の動向確認したい。新しいアプリは低出生体重児の記録対応が可能。

**5. 妊婦健診受診票の助産所での使用について**  
**さの)**助産所での妊婦健康診査は償還払い。助産所での使用について利便性をはかるべき。

**市)**個別契約締結で使用可能のため、協議中。

## 6. 安全・安心のまちづくりについて

**さの)**市防災会議の女性委員の増員を求める。

**市)**今年は1名増員できた。引き続き努力する。

**さの)**防災まちづくり推進地区への支援制度を補助金方式に変えるべき。**市)**検討中である。

## 物価高騰による給食費の値上げ回避を求める

**1. 質量共に安定した学校給食の提供について**  
**問)**世界穀倉地帯への軍事侵攻による小麦の高騰等食糧危機が高まり給食食材への影響が出始めている。値上げする事なく国の交付金を活用し子ども達の成長に欠かせない質・量・美味しさを維持した給食を提供し、コロナ禍で影響を受けている保護者負担の回避を求める。  
**市)**栄養士の努力で工夫はして来たが麺類や魚などに影響が出始めている。本定例会に小中学校給食の所要経費を計上し質量共に維持する。

## 2. 子宮頸がん予防ワクチン接種について

**問)**20~30歳代女性が年間11,000人罹患し約3,000人が死亡と。予防にはHPVワクチンが有効

だが副作用の懸念から積極的勧奨が控えられた17~25歳未接種者に令和4年度からキャッチアップ接種が開始された。既に自己負担での接種者も公費負担される事も含め漏れなく情報提供・周知を。  
**市)**令和6年度迄の3年間自費接種者への償還払いも含め公費負担接種を実施。周知に努める。

## 3. がん患者の方への支援について

**問)**骨髄移植で免疫力が低下消失した18歳未満の再接種費用助成が開始され好評。社会人になって間もない20歳代患者にとっても給与は未だ少なく治療での休職や高額療養費以外の支出負担等も大きい。今後年齢枠拡大等検討頂きたい。  
**市)**他市の状況を見ながら研究したい。

**問)**社会復帰に向け脱毛や体形変化等を補う為のウィッグや医療用補正下着等が必要となるが、高額で費用負担が大きい。公費助成の検討を。  
**市)**都内先行実施自治体を参考に研究したい。

## 4. 高齢者のフレイル予防に推進員の活躍を

**問)**介護予防推進員の成り手不足解消の為ポイント付与や旅費支給等は考えられないか。

**市)**人材確保と意欲的な活躍の為に研究したい。

**その他)**お悔やみ相談・福祉の総合相談ワンストップ窓口開設。脱炭素・食品ロスの取組。西町1丁目-19に横断歩道設置を。等質問。

公明党  
高橋 りょう子

